

市場の声を聞く！『出荷から消費者に届くまで』

～海匠農業経営体育成セミナー合同研修「販売流通」を開催～

海匠農業事務所改良普及課 令和3年11月5日発

海匠地域は、県内一の農業産出額を誇ります。そこで、就農間もない農業者を対象に、10月14日、生産と販売を戦略的に考える力を養うこと、GAPを理解し経営改善に取り組むことを目的とした研修を干潟公民館で開催したところ、13名の参加がありました。

研修では大田市場とリモートでむすび、市場の役割、流通の仕組み、産地の評価等に関係者から聞きました。セミナー生は、自らの農産物の評価を熱心に聞き、「市場の生の声を基に、市場の動向や需要の重要性をよく学べた」、さらに、「消費者の声を意識した農作物を作りたい」と意気込んでいました。また、GAPの講義では、「食品安全だけでなく労働者や環境にも配慮した経営を行いたい」との声もありました。

農業事務所では、コロナ禍でも感染対策を徹底して学びの機会をつくり、関係機関と連携し、「食の宝庫 海匠」を支えるリーダーの育成を図っていきます。



大田市場関係者に質問するセミナー生



GAPのクイズに回答するセミナー生